



軽トラ市は町商工会の駐車場を会場に開催しました

**「軽トラ市」の
広報活動を協力**

3月21日に開催された「第4回ふれあい・ながしま軽トラ市」のPR活動を協力隊の江副佑輔さんが担当しました。

町商工会と連携したPR活動では、イベントを盛り上げるためのデザイン、SNSを活用



イベントに出店した町の事業者ら

した写真や動画、PR文章の作成などを行いました。

新型コロナウイルス感染症対策を取って開かれたイベントは、1000人以上の来場者を迎え、大盛況で終わりました。

江副さんは「伝える役割を全うでき、一助になれたことがなによりです」と話しました。



ポスターを持つ江副さん



大中岳山頂の巨石群

こんなことをしています。こんなところでがんばっています。

地域おこし協力隊通信



指江支所の会議室でのオリエンテーション

児童らが大中岳の巨石群を探索

4月3日、協力隊の山田周さんが主催する「もっと長島プロジェクト」が行われました。5回目となった今回は、町内最高峰の大中岳の山頂にある巨石群を探索しました。

当日は町内の小学生とその保護者ら25人が参加。指江支所での市内の山と巨石について事前学習した参加者らは、バスで大中岳の山道入口まで移動し、山頂を目指しました。

山頂に向かう途中では、植物や森の生態系に詳しい協力隊の長谷川一総さんが草木の解説をしたり、葉に触り感触を確かめる活動をしたりするなど、参加者らは身近な自然を再発見していました。

山頂では、背丈を越える大きな石や石を抱くように生える木が参加者らを驚かせました。一番大きな石を探索する活動では、児童らは思い思いに駆け回り、普段見ることのないさまざまな形の巨石を観察していました。

山頂の巨石群を観察した後には、児童らが見つけた一番大きな石の外周を計測し、10歳を越える大きさに参加者らは驚きの声を上げました。活動の最後には、参加者全員で記念撮影して下山となりました。

実施後のアンケートでは「大



きな石を見てびっくりした」「もっといっぱい町内を探検したい」という児童の感想のほか、「親子で参加して楽しむことができ、長島の奥深さを実感することができて良かった」という保護者の感想も寄せられました。

企画した山田さんは「今後も町内の児童や保護者の皆さんに、たくさん長島の魅力的な場所を紹介して、もっとふるさとを好きになってほしい」と話しました。

「もっと長島プロジェクト」とは、
長島町の子どもたちがもっと長島の魅力に気づき、もっと好きになるためのプロジェクトです。

有害鳥獣対策に向けて

協力隊の長谷川一総さんが町内の有害鳥獣対策に向けた活動に取り組んでいます。

1月の第二種銃（空気銃）免許の取得に続き、長谷川さんは4月16日に猟銃等講習会で銃の初心者講習を受講し、修了しました。

これは、鹿児島県公安委員会が主催する銃所持の許可を受けるためのものです。

このほか、同月上旬から下旬にかけて、東猟友会総会や同会主催のくくりわなの講習会に出席。町内のイノシシ被害の情報交換やくくりわなの配布、会員からわなの使いかたの手ほどきを受けました。



くくりわなを設置する様子



講習修了証明書を持つ長谷川さん

長谷川さんは今後、くくりわなの設置や猟銃の購入に向けての手続きなどを進めていきます。

鳥獣による農作物被害の相談先
農政課農政係
☎(86)1136[直通]



くくりわな講習会の様子